

おれんじの風

玉東町社協だより

第178号

シャキッとご利用者
いまむら

題字 今村 ミチノさん(上木葉)

シャキッと
いいよ～楽しいよ～!

『おれんじの風』文字募集中!

特技・趣味のグループ等も受け付けています!

☎85-3150まで

令和6年11月15日

第37回 玉東町福祉大会

2024(令和6)年 『私の町』 『福祉の町』 『玉東町』

9月29日(日)

ふれあいの丘保健センター



コーディネーター

九州看護福祉大学 准教授
田島 望 氏



町区の見守り活動
(防災訓練等)

町区区長 一瀬 二彌 氏



認知症なんてこわくない町
玉東町を目指して

玉東町ともに歩む会 会長
塚元 なるみ 氏

地域共生シンポジウムメインテーマ
『この町で暮らしてよかった』



ゆるくつながり
『ちがうこと』が活きる町

玉東町発達支援親の会
親子育て玉トーク 代表
田尻 沙耶花 氏



玉東中1年 高木理琬さん 玉東中2年 寺本雄飛さん



2024
夏のボランティア活動

玉東中3年 野中綺人さん

9月29日(日)福祉大会を開催しました。
シンポジウムでは、まず各シンポジストから活動報告をしていただき、公開討論会を行いました。

目次

- ❖ 第37回玉東町福祉大会 1~5
- ❖ 介護ホームはぶの・玉東町民児協だより 6
- ❖ ファミリーサポートセンター協力会員養成講座・玉東町社協ケアプランセンター ... 7
- ❖ 玉葉会・リレートーク・実習生の紹介・寄付御礼・つぶやき 8

第37回 玉東町福祉大会

期日 令和6年9月29日(日)
会場 ふれあいの丘保健センター

表 彰



社会福祉協議会理事 金川 晃 様



伝達表彰
九州社会福祉協議会連合会表彰 角田 逸雄 様

優秀作品 作文発表

私が思う福祉の中心	山北小学校 6 年	加藤 しおり さん
介護予防の取り組み	木葉小学校 6 年	徳永 れんや 蓮也 さん
身近な人との助け合い	玉東中学校 1 年	山崎 きよら 希世来 さん
福祉の重要さ	玉東中学校 2 年	山戸 しゅうき 柊槻 さん
エンパワメント	玉東中学校 3 年	光永 はるか 陽香 さん
玉東町の福祉	玉東中学校 3 年	龍 みつ 光輝 さん

福祉大会作文審査について

審査委員長 下地 哲雄 (教育長)

9月4日(水)に、町の各団体代表者7名の審査委員で審査を行いました。

小学生の作文は、福祉体験学習や身近な生活の中から素直な視点で感性豊かに綴られていて、小学校での福祉に関する学習の結果が良く出ていました。

中学生の作文は、祖父母との関わりや日常生活の中で、中学生として出来る福祉の視点、さらに視野を広げて『福祉の町』玉東町のすばらしさを、感謝の気持ちを込めて、感性豊かに綴られた作品が多くありました。特に3年生は優秀な作品が多かったので2点選びました。

※今回は、中学2年生と3年生の作文を掲載しております

みなさんは、福祉とは何なのかを知っていますか、僕は、福祉と考えると高齢者の方々や何か障害やどこか不自由な方を思い浮かべてしまいます。ですが、福祉と考えていると高齢者の方々や障害者の方々何か障害を持たれている人たちの接し方などを教えるたり自分が接して支えたりするものだと思っています。そして、治すまではいかにいけど認知症などの病気を持っている人とうまく接して症状の進みを遅らせたりすることだと思っています。なぜなら、僕のおばあちゃんが認知症で僕が小学生の頃からずっと接しているからです。でも最初は、すぐ治るでしょと思っていただけ小学生の時福祉の講座を受けた時に強い言葉を



山戸 柊槻さん
玉東中学校2年

福祉の重要さ

言ってしまうと認知症の進みが早まることを知って、いつか自分のことも忘れてしまうのかなと思ってやさしい言葉を意識して接してきました。ですが、おばあちゃんが亡くなってお葬式をしていたときに福祉の方が来られて僕のおばあちゃんが亡くなったから泣いていました。そして老人ホームにいた時のおばあちゃんの写真を見せてくれました。その時の写真は、家で過ごしていた時よりもずっと楽しそうでした。その写真を見たときに福祉はとても大切だと考えました。なので、僕のおばあちゃんのように認知症や老人の方でも楽しく過ごせるのはすごいと思いました。

これからは、自分のことばかりではなく僕のおばあちゃんのように認知症を患っていても幸せに暮らしていける街づくりをしていきたいと思いました。そして、できるだけ多くの人が幸せに暮らしていける街づくりをしていくために福祉の大切さやそのような場所の重要さ大切さを伝えていくことが大切だと考えます。なので、自分が伝える

エンパワメント



光永 陽香さん
玉東中学校3年

昨年修学旅行から帰ってきたら、祖母が他界していた。二十年にわたる闘病生活、手術、粒子線治療と、入退院を繰り返しながら生活してきた。それでも調子が良い時は運動会や祖父母参観に顔を出してくれた。

祖母が他界しぱっかりと空いた穴。みんな寂しい気持ちでいっぱいだが祖父が一番気を落としている。今までは、祖父母二人で家庭菜園をして変わった野菜を作っては私たちを呼び、もてなしてくれた。ゆっくりでも二人で過ごす時間は祖父にとっても生きがい

だったはずだ。

祖母他界後、祖父は日中は一人の生活となり話すのはテレビと老犬と猫。会うたびに祖父から笑顔が消えていった。職人であった祖父は家事をこなしていた。でも、高齢である祖父は日に日に腰痛がひどくなり手術へと踏み切った。日常生活もままならなく、手術後退院してからも一人で家にいるのは不安となった。周りへ迷惑をかけたくないと自分でもなんでもしようとするが体はいうことをきかなく、庭にも出るのが難しくなった。

そんな時介護保険申請の手続きをして、デイサービスの利用ができるようになった。デイサービスにいき始めた祖父は同年代の方や、施設のスタッフと話すことで活気を取り戻しつつある。

福祉の専門家には社会福祉士、介護福祉士など色々な人がいますが、共通している主な役割はエンパワメント。エンパワメントとは、本人が持っているあらゆる能力や長所、特技、経験、可能性、希望などの力を引き出すため生

活や地域社会環境を整えていくことを意味します。障害がある人や病気の人に対し出来ないことに支援するより、その人の長所、強さをより伸ばしていく支援をするのが、福祉の役割です。祖父も、デイサービスを通して趣味の料理や日曜大工などを自分のペースでできるようになり、以前より笑顔も増えてきました。

公的サービスを使い日常生活の幅を広げることによって生きる目的を見つける事ができます。福祉を通して笑顔で生活できる社会を私たちが創り上げたいと思います。

玉東町の福祉



龍 光輝さん
玉東中学校3年

僕たちが住んでいる玉東町では、福祉に対する取り組みがたくさん行われています。福祉とは人々の幸福で安定した生活を公的に達成しようと

することです。みんなが暮らしやすい町にするためにはどうすればいいのか僕には分かりません。そこで僕はこの前高月地区で行われた話し合いに参加しました。

話し合いの中でオレンジタウン側から駅に行く時緑色の歩道橋を登って行かないといけないから緑色の歩道橋にもエレベーターをつけてほしいという意見が町長に出されました。今、木葉駅の中にある灰色の歩道橋にエレベーターができました。理由は玉東町で高齢者が増えていて階段を登ることが難しい人のためです。ですがオレンジタウンに住んでいる人は緑色の歩道橋を渡らないと駅にはいきません。緑色の歩道橋を渡らないと遠回りになります。今から十年後には高月地区は高齢者が多くなります。エレベーターをつけないと困る人が増えるためつけた方がいいと思いました。しかし緑色の歩道橋の下は小学生の登校するときの集合場所で反対側には駐車場があってエレベーターをつけた場所がないそうです。限られた場所と予算で暮らし

やすい町を作るのは難しいことなんだと思いました。

話し合いの中に新しい役場の話ができました。新しい役場は地球に優しく古い役場にあったでこぼこなどの問題を改善したそうです。雰囲気も明るくなり階段などの段差もなくなったため町の人が行きやすくなりました。町民や役場で働く人のことも考えられた建物でいいなと思いました。こうした建物がたくさん増えて玉東町が暮らしやすい町になるといいと思います。

僕は話し合いで玉東町の福祉に対する取り組みをはじめてちゃんと知ることができました。玉東町がこれからもっと住みやすい町にするには住民の意見を取り入れることができる範囲で取り入れて段差を少なくしたり道路の整備などをするといいと思います。玉東町を暮らしやすい町にするために僕たちができることは若い人がこういう話し合いに参加し、自分が住んでいる町について真剣に考えることができると思います。

中学生ボランティア

大会宣言

65名の参加がありました!!

朝のあいさつや託児、式典でのお手伝い等、ありがとうございました。
中学生のアンケートを紹介します!



・自分たちの町の福祉を自分で考えるのは、とても大切なことだなと思いました。



・助け合いは身近なところでできているということや、助け合いは、した人もされた人もいい気持ちになるということを改めて理解することができました。



大会宣言をする
玉東中3年の 竹崎 陽真さん



・玉東中の生徒としてボランティアとして活動できることや、福祉についてしっかりと学べることでとても良かったです。

・参加することにより、福祉へのこれからの捉え方などより深く考えるきっかけとなりました。

・認知症について、詳しく知ることができました。福祉についても、もっと知ることが出来ました。



福祉大会アンケートより

中学生が生き生きと参加し、元気を頂きました。玉東中のあいさつ、素敵でした。先生方の日々のご指導が丁寧で温かいのだらうと思いました。

(女性40~50代)

幅広い分野の内容で、充実していたと思います。町内に住んでいてよく知らなかった活動もあり、多くの方が住みやすい町に努力されていることがわかりました。

(女性60~70代)

作文はそれぞれの学年らしい内容、又、あまり長くない作文で、とても集中して聞けました。その為色々考えることができました。共生できる町になるように一人一人が思いをめぐらし動けたらと思いました。

(女性40~50代)

この町で暮らしてよかったのテーマが共有できた。次回も楽しみ。

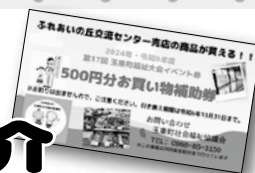
(男性80歳以上)

展示コーナーのクイズラリーは良かった。町内の団体の活動を知るきっかけになりました。

(女性40~50代)

第37回 玉東町福祉大会

展示コーナー＆クイズラリー紹介



④玉トーク

〔問題〕玉東町発達支援の会親子育て〇〇トーク。〇〇に入る言葉は？

1. じよし
2. ぎよく
3. みかん

答え 2. ぎよく

今回展示コーナーは、より多くの方に展示を楽しみながら見て、知っていただけるよう、各ブースの内容に関するクイズを出題しました。クイズに取り組んでいただいた方には、交流センターで使用できるお買い物補助券をお渡ししました。

⑤シャキツと

〔問題〕立命館大学の真田教授が訴えるフレイル予防を開始する適切な年齢は？（フレイルとは高齢者における虚弱に近い言葉で、介護状態の前の状態のこと）

1. 40歳
2. 65歳
3. 75歳

答え 1. 40歳

①共同募金

〔問題〕どうして羽の色は赤色なのか？

1. 「赤十字の赤色」に統一したかった
2. 「太陽」のイメージ
3. ロビンフッドが帽子に赤い羽根をつけていた

答え 3. 『勇敢な行いをした1人の勇者に赤い羽根をつける権利が与えられた』というエピソードから、赤い羽根は勇気の象徴とされる。

⑥はぶの

〔問題〕「介護ホームはぶの」で育てている果物は？

1. みかん
2. ぶどう
3. ハニーローザ

答え 2. ぶどう

②熊本地震

〔問題〕地震に関する正しい行動は？

1. 地震速報が鳴ったのでとにかく早く外に出る
2. 熱中症予防のため、夏はなるべく身軽な薄着の服装で避難する
3. エレベーターに乗っている時地震にあったらすべての階のボタンを押す

答えと解説 1. × 下手に動いてケガをしないようにする
2. × ケガから守るため、肌を出さないようにする
3. ○ 最初に止まった階で降りる

⑦認知症

〔問題〕認知症は（ ）の病気。（ ）に当てはまる言葉は？

1. 心
2. 気持ち
3. 脳

答え 3. 脳

③里親

〔問題〕家庭で生活できない（里親を必要としている）子どもは、およそ何人？

1. 全国で13,000人
2. 全国で32,000人
3. 全国で42,000人

答え 3. 全国で42,000人

荒尾・玉名地域の障害者就労施設等からなる

あらたまハートブランド協議会の販売



るびなす
クッキー・アートタオル



WAKABA
たこ焼き



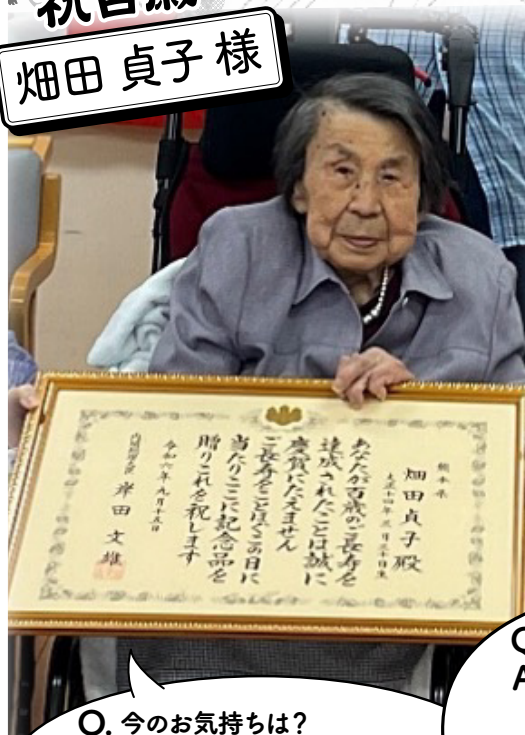
支援センターほし
たい焼き・アクセサリー

『念願の総理大臣からの賞状』

～95歳から楽しみにしていました～

祝百歳

畑田 貞子様



敬老の日になみ、新たに百歳になれる高齢者へ内閣総理大臣からの表彰状と記念品が贈られました。これは、百歳を迎える高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会の発展に寄与してきたことに感謝するとともに、広く国民が高齢者福祉についての関心と理解を深める事を目的としています。

9月25日、介護ホームはぶのへ前田町長が訪れ、畑田貞子さんへお祝いを手渡されました。利用者の皆さん・スタッフとお祝いをし、とても喜ばれていました。前田町長より「おめでとうございます。これからもお元気で。」と祝福されました。



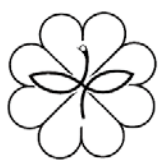
Q. 今のお気持ちは？

A. 総理大臣さんから賞状をもらうのが目標でした。この日を迎えられて、嬉しい嬉しい！

Q. 今後の目標や楽しみは？

A. 前に熊本日日新聞の「熊本弁まっだし（読者投稿コーナー）」に出したことがあります。またそがんとに出せると良かばってんな～。アイスや梅干し、好きな食べ物はいくつかあるばってん、大きな桃が食べたい。

掲載された
熊本弁まっだしは
こちら!!



～地域の身近な相談相手～
玉東町民児協だより
(玉東町民生委員児童委員協議会)

あいさつ声かけ運動実施しました！

8月29日(木)～9月9日(月)の期間、山北地区(木村店前・山北小学校前)と木葉地区(木葉駅前・山口・役場西側・熊本礦業入口)で声かけ運動を行いました。夏休み明けでしたが、子どもたちは元気に登校しました。



令和6年度玉名地域民生児童委員一般研修に参加しました。

人権に関するDVD放映の後、熊本県中央児童相談所の牧嶋幸伸氏による児童虐待対応にかかる民生児童委員の役割についての講義がありました。大変有意義な時間を過ごしました。



お問い合わせ

玉東町民生委員児童委員協議会事務局
TEL:85-3150(玉東町社会福祉協議会)

ファミリーサポートセンター協力会員養成講座

開講中!!

第1回 9/6【金】

*開校式・オリエンテーション
*保育のこころとコミュニケーション
～親子の育ちを支えるかかわり～
講師：心理カウンセラー 三浦 佑子氏



参加者の感想

子育てのことだけでなく、日常の人間関係についても大変参考になるお話でした。つい、ネガティブ思考になってしまいがちな性格ですが何事もポジティブ思考にかえていければと思いました。コミュニケーションスキルの〈ありがたいのサンドイッチ〉実践していきたいです。

第2回 9/7【土】

*自分と向き合う時間
～セルフコミュニケーション～
講師：テンスタイル ヨガスタジオ
代表 山本 朋慧氏



参加者の感想

自分と向き合うことの大切さ、自分自身を大切にすることの大切さ、呼吸の大切さ、たくさん大切さを教えて頂きました。ありのままの自分を認めてあげて日々すごしていきたいと思いました。今、心と体がとてもかるいです。ありがとうございます。(必ず1日1回は呼吸を意識します)

第3回 9/17【火】

*子どもの発達と病気
講師：玉名ゆりかご保育園
副園長 二宮 球美氏



参加者の感想

子どもの発達には周囲の環境・関わり方が大きく影響するということを改めて実感しました。
普段の生活の中では出来ることを「当たり前」と感じがちですが、そうではないということ。今後の生活の中で知っておくべき内容ばかりで大変学びになりました。ありがとうございました。

ファミサポ講座今後の予定

11/20(水) 10:00～12:00

子どもとの関わり方のヒント

～子どもの特性から見える接し方のコツ～

放課後デイサービス ほっとHOPE

児童発達支援管理責任者 井上 定子 氏

12/11(水) 13:30～15:30

玉東町子育て支援

保健こども課 児童担当

母子保健 子どもの誕生とは

保健こども課 保健師

12/17(火) 13:30～15:30

安全と事故

木葉昭和児童園

主任保育士 保田 晃子 氏

有明圏域ともいき協議会 相談支援専門員と 介護支援専門員との 合同研修会

8月21日玉名市役所会議室にて障害福祉サービスの相談支援員と介護保険の介護支援専門員（ケアマネジャー）との合同研修を開催しました。今回、研修の企画、運営に携わることができ、大変貴重な体験となりました。

研修会では事例について検討するためにグループワークを行い、他分野の制度、支援の成功例などを学ぶことができました。何より、他分野の専門職と顔の見える関係が構築でき大変有意義な時間となりました。



☎85-3190



司会を行う
阪本真樹氏



リレートーク Ver.83



福田美穂さん(右)
(行政区:二俣西)

福田美穂といいます。3児の母です。(小2、年長、3才)玉東町に来て8年目になりました。植木町出身で隣町ではありますが、初めての町での初めての子育て・・・不安でしたが、つどいの広場や近所のママさん達、保育園などに支えてもらいました。子どもが好きで、独身時代は小中学生とキャンプに行く仕事を9年間していました。今はご縁があり、ふれあいの丘にある『ほっとほーぷ(学童)』で働いています。子ども達と毎日楽しく過ごしています。よろしくお願いします。

名も知らぬ花もたしかに秋の花
ソプラノの抜けゆく窓辺天高し
赤い羽根衿に首相の登壇す
世を狭く活きるのも良し老いの秋
食欲や値上げの秋も何の其の
影落とす世界平和に秋の風
大花野あるか無きかの一本道
刈田はや人影なくて鳥鳴く
千疊のカールを覆ひ鰯雲
秋灯し終活ノート一行目

(玉葉会は町内の俳句サークルです)

坂本 友春

松本 妙子

ひろ子

緒方 昌子

安田かしこ

玉葉会 九・十月句会

実習生の紹介



熊本学園大学
社会福祉学部
福祉環境学科
井 楓(熊本市出身)

実習期間:
8月19日～9月20日まで

24日間の実習、大変お世話になりました。さまざまな事業への参加・体験を通して多くのことを学び成長することができたと思います。ご迷惑をおかけすることも多々ありましたが、玉東町のみなさまから温かいお言葉をたくさんいただき24日間走り切ることができました。

この実習で学んだことを、学校での学習や今後の進路に活かしていけるよう、これからも頑張ります。

本当にありがとうございました。

寄付御礼(9・10月受付分)

香典返し

- ・佐藤 精子 様 熊本市
- ・(亡甥 多山寿一二侯西)
- ・清田 光子 様 原倉東
- ・(亡夫 幸生)
- ・村上さとみ 様 西安寺
- ・(亡母 レイ子)
- ・清田 政治 様 二俣西
- ・(亡父 亨)
- ・物品寄付
- ・介護用品
- ・匿名 1名



いつまでも自分の体力は若いままと思っていたけれど、気付いてみれば、前にできていた事もすぐ疲れてしまう。いつの間にか歳を重ねていた自分のメンテナンスをしなればと思い直しました。あの食べ物や飲み物は、健康に良い悪いと昔は言われてきたのに、今の情報だとそれが逆になつていたりする。健康も知識もアップデートしていかなくてはと頑張っています。

ヘルシア

〈ふくしの総合相談〉

- ・障がい者の生活や虐待について
- ・成年後見制度について
- ・生活上の困りごとについて
- ・ボランティア活動に関する相談

〈玉東町生活よりそいセンター〉

- ・家計のやりくりの不安
- ・子どものひきこもりで心配
- ・仕事がなかなか見つからない など

玉東町社会福祉協議会 ☎0968-85-3150

土曜日・祝日(8:30～17:00)も受付します。

玉東町シルバー人材センター

会員募集



担当 谷口

☎0968-85-6305